

見て・知って・行ってみよう ふるさとの島

◆会場 常設展示室1
◆会期 平成26年11月13日(木)～12月25日(木)

多島美で知られる瀬戸内海には、香川県内だけでも100を超える島々があり、そのうち、人々が生活する有人島は24島あります。それらは、のどかで美しい風景を構成するとともに、異なる風土や歴史に育まれた個性ある姿を見せています。

近年、瀬戸内海の島々を舞台にしたアートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」が開催されて、県内外から多くの人々が訪れるようになり、島々への関心が高まっています。

本展で紹介する、それぞれの島の歴史や民俗に関わる資料を見て、ふるさと香川の島々について知って、改めて島に足を運んでみませんか。

島々のすがた

江戸時代の瀬戸内海は、大名の参勤交代や、商船・寺社参詣の重要な航路で、多くの船が行き来していました。さまざまな種類の航路図も作られ、その中に描かれる島々は、航路を表現する上で重要な標識の役割も果たしています。また、讃岐の名所や産物などを挿絵入りで紹介した名所図会の中にも、瀬戸内海を眺望した光景の中に多くの島が描かれています。

大正時代後期から昭和時代初期の観光旅行ブームの中で多数作成されたリーフレットには、観光名所になった島がひととき目立つように描かれています。昭和9年(1934)に瀬戸内海が国立公園に指定されてからは、多島美を強調する内容のものが多くなりました。

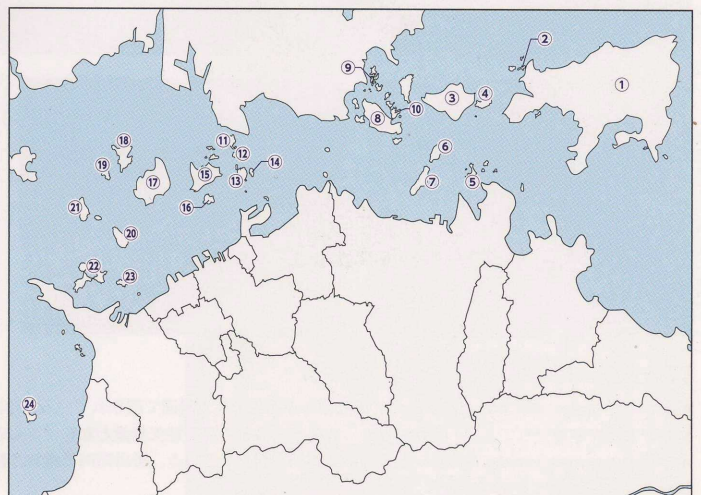


日本橋より長崎迄道中記 当館蔵

香川県の有人島

島名	行政区域	面積(km ²)	人口(人)
① 小豆島	土庄町 小豆島町	153.29	30,167
② 沖之島	土庄町	0.18	75
③ 豊島	土庄町	14.50	1,018
④ 小豊島	土庄町	1.09	15
⑤ 大島	高松市	0.73	115
⑥ 男木島	高松市	1.37	162
⑦ 女木島	高松市	2.67	174
⑧ 直島	直島町	7.81	3,277
⑨ 屏風島	直島町	0.12	31
⑩ 向島	直島町	0.74	17
⑪ 榎石島	坂出市	0.93	205
⑫ 岩黒島	坂出市	0.17	89
⑬ 与島	坂出市	1.10	115
⑭ 小与島	坂出市	0.26	4
⑮ 本島	丸亀市	6.77	492
⑯ 牛島	丸亀市	0.84	14
⑰ 広島	丸亀市	11.66	281
⑱ 手島	丸亀市	3.41	40
⑲ 小手島	丸亀市	0.53	53
⑳ 高見島	多度津町	2.33	43
㉑ 佐柳島	多度津町	1.83	108
㉒ 栗島	三豊市	3.68	289
㉓ 志々島	三豊市	0.59	24
㉔ 伊吹島	観音寺市	1.05	590

*面積は「離島統計年報 2011」による
*人口は平成22年度国勢調査による



江戸時代から続く農村歌舞伎

小豆島の農村歌舞伎は、江戸時代後期から現在まで上演が続けられている貴重な民俗芸能で、香川県の無形民俗文化財に指定されています。幕末から昭和時代初期に盛んに行われ、かつては島内に30近い農村歌舞伎の舞台がありました。

神社の祭礼に奉納する形で上演されることが最も多く、それぞれの地域の人々が役者、囃子、三味線、衣装方、道具方などの役割を分担し、稽古を重ねて上演に臨みます。当日は、観客も舞台の演技と一体となって声援を送り、酒を酌み交わしながら夜が更けるまで芝居を楽しみます。



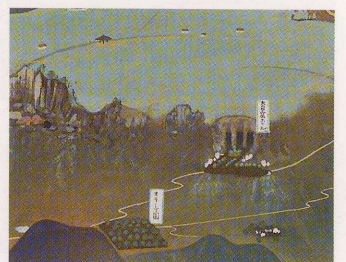
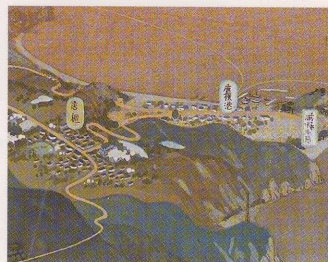
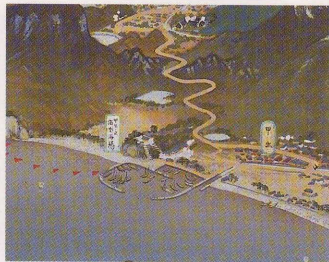
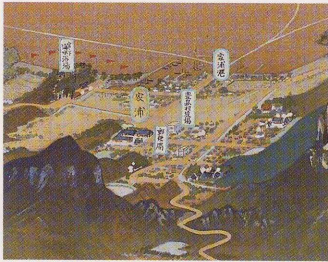
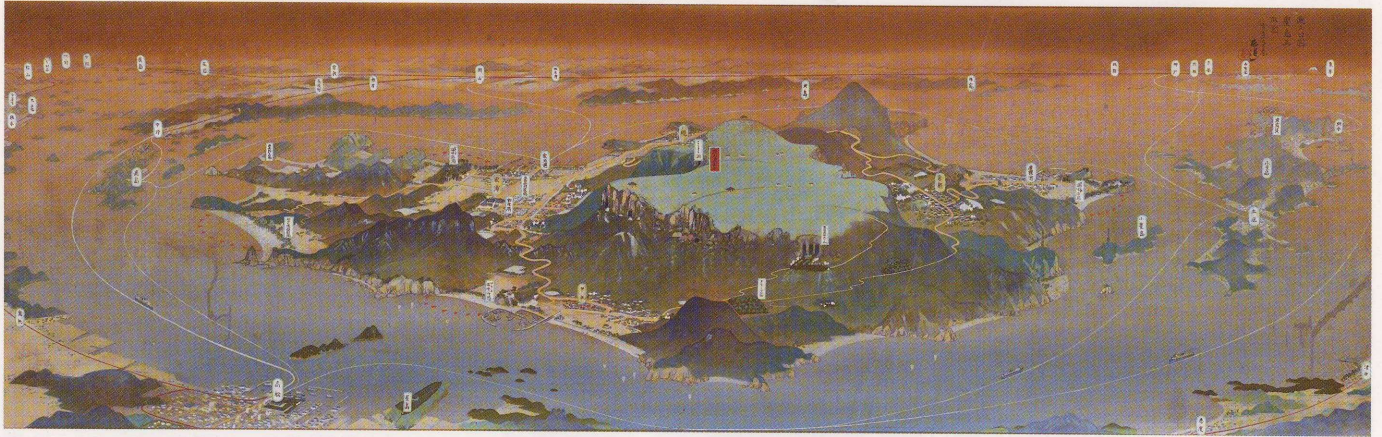
歌舞伎の衣装 当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

小豆島町福田で使われていたもので、「毛剃^{もそり}」(原作は近松門左衛門「博多小女郎波枕」)の演目の衣装。金を糸をふんだんに使った豪華なもので、島の人々の歌舞伎にける思いが伝わってくるようである。

寺本郷史が描いたふるさと

豊島出身の寺本郷史(1916 ~ 2002)は、昭和6年(1931)豊島尋常高等小学校を卒業し、その2年後に「大正の広重」とも称された著名な鳥瞰図画家、吉田初三郎の弟子となって、寺本左近の名前で鳥瞰図を制作しました。

兵役を期に小豆島に戻り、戦後は、日本画を学んで院展作家として活躍しました。昭和34年、埼玉県に転居するまでの間に、香川県内の観光案内等に掲載された鳥瞰図を制作しています。



国立公園 豊島鳥瞰図 豊島公民館蔵

昭和24年(1949)に制作された鳥瞰図で、高松側から豊島を見た構図で描かれている。島内には、4ヶ所の海水浴場、オリーブ園、壇山遊園地、豊島石の大丁場を利用した大岩窟ホテルなどが描かれており、実在しなかったものも含めて島の観光資源となり得るものを中心に描いたものと思われる。この鳥瞰図が描かれた年、高松では観光高松大博覧会が開催され、寺本は高松、丸亀、観音寺の鳥瞰図を制作している。香川県内で戦後の観光開発が進む中、ふるさと豊島が観光によって発展していく姿を思いながら制作したのだろうか。

絵画で表現された 崇徳上皇と直島のゆかり

保元の乱(1156)後、讃岐に配流された崇徳上皇(1119～64)は一時期直島に滞在したとされ、島民の心が素直であることを愛でて直島と名付けたと伝えられています。また、島内には崇徳上皇にちなんだ伝承や地名が多く残っています。



新院御旧跡図 個人蔵

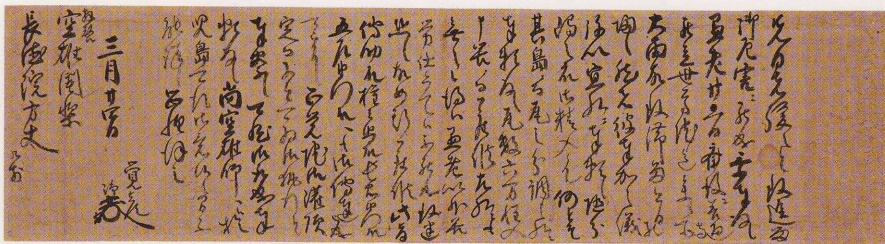
新院は崇徳上皇のこと。直島に残る崇徳上皇の伝承を、絵画と和歌で表現したもので、幕末まで直島の庄屋を務めた三宅家に伝わる。中央に三宅家初代の重成の娘と上皇との間に生まれたとされる重丸が描かれるなど、上皇と直島とのゆかり、三宅家の由緒をわかりやすく表現するために作られたものと思われる。



高僧 浄厳と塩飽

浄厳(1639～1702)は、河内国に生まれ、高野山で学び、のちに將軍家の帰依を受けて江戸湯島の靈雲寺の開基となった高僧。延宝6年(1678)、讃岐の地で経を講じ、その後高松藩主松平頼重の求めに応じて讃岐に数年滞在しました。

浄厳は塩飽の島々と関わりが深く、牛島の極楽寺には浄厳筆の銘を持つ梵鐘が現存するほか、書状など複数の資料が残されています。



浄厳書状 極楽寺蔵 丸亀市立資料館保管

浄厳が松平頼重の援助を受け延宝7年(1679)に再興した、河内の教興寺の瓦6万枚の寄進を、牛島の船持衆に依頼する内容である。塩飽の廻船は、幕府の年貢米輸送に従事して発展し、特に牛島には有力な船持が複数いた。浄厳と牛島の強い結びつきや、丸尾五左衛門をはじめとする牛島の船持衆の財力・信仰心を示すものである。

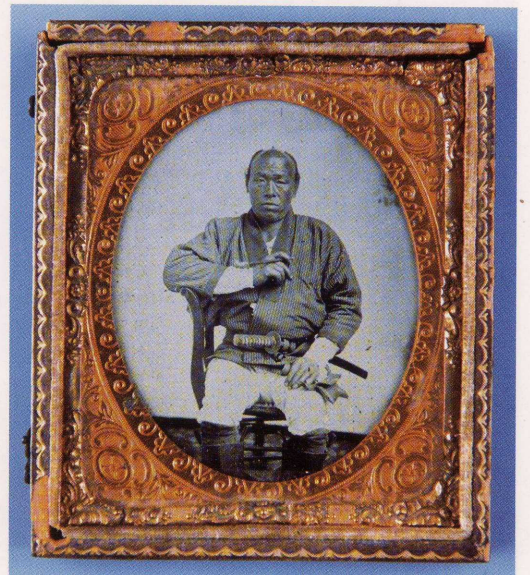
アメリカ土産の写真

塩飽諸島一帯は、潮流が激しく変化する難所で、塩飽の船乗りたちは古くから優れた操船技術を持つことで知られ、江戸時代には、幕府の御用に船や乗組員を提供しました。

その伝統は幕末まで続き、万延元年(1860)、幕府がアメリカに派遣した使節に同行した咸臨丸の、乗組員の半数以上が塩飽の出身者でした。彼らは、優れた航海技術を身につけていたために、海外に渡航して、いち早く西洋の新しい文化に接する機会を得たのです。

向井仁助像 塩飽勤番所保管

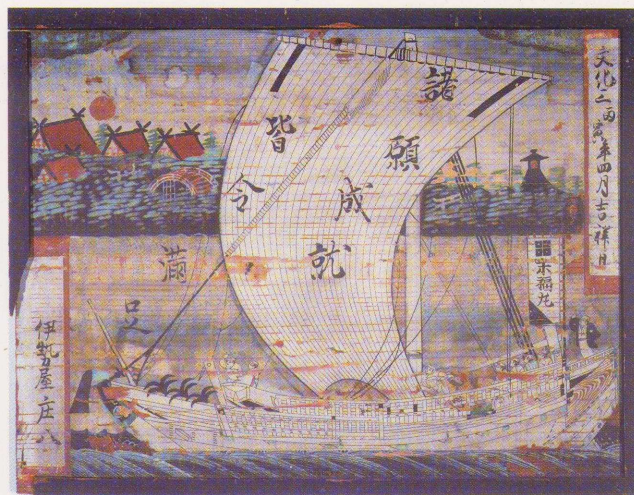
咸臨丸乗組員の一人、広島出身の向井仁助がアメリカで撮影した写真。当時、日本国内ではまだ写真館は開業しておらず、写真の技術は、ごく一部の人々にしか知られていなかった。向井の撮影体験は、讃岐の人物としては最初であり、日本人としても早い時期のものである。



隆盛をほこった粟島・志々島の廻船

粟島の船乗りたちは、豊臣秀吉の朝鮮出兵(1592・1597)や、島原の乱(1637)にも従軍するなどして活躍しましたが、江戸時代にはその多くが廻船業に従事するようになり、18世紀前半から19世紀前半にかけて島に繁栄をもたらしました。

志々島も、江戸時代には漁業のほかに廻船業が盛んでした。島内には航行の途中で船を手入れする「たで場」もあり、各地の廻船が寄港していました。



香川県指定有形民俗文化財 粟島伊勢神宮奉納舟絵馬のうち末福丸
当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

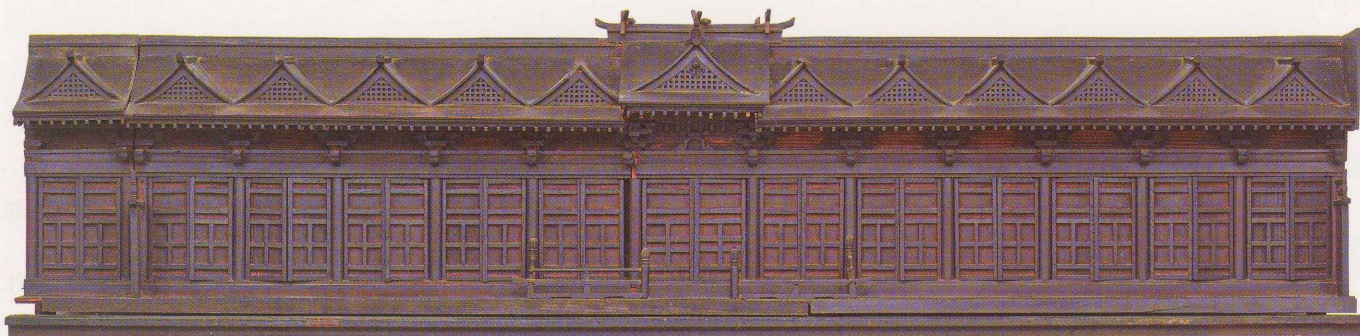
粟島の伊勢屋庄八が文化3年(1806)に奉納したものの。



伊達額「順風」

当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

伊達額は、廻船の積荷の前に付ける額で、額縁や文字を装飾し、縁起のよい言葉を記す。これは、志々島の廻船問屋伊勢屋のもの。



神棚 当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

粟島には、かつて20軒を超える廻船問屋が軒を並べていたといい、これは、そのうちの1軒「アミヤ」の屋号を持つ徳茂家の神棚である。幅3メートルを超える大きさは、粟島廻船の隆盛を物語り、また危険と背中合わせの船の仕事に従事する人々の、強い信仰心のあらわれとも言える。

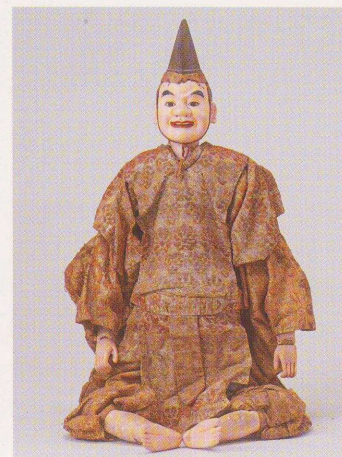
漁の神様 2体の木偶人形

現在、全国でも有数の出荷量をほこるイリコ(煮干イワシ)の島として知られる伊吹島。かつては、鯛網漁も盛んでした。

伊吹島の網元の家では、大漁を祈願して阿波の木偶人形を床の間や神棚に祀っています。地元では、ヨベッサン(エビス)、リョースケサン(良助、漁助)と呼ばれています。

ヨベッサン(左)とリョースケサン(右)
当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

伊吹島の鯛網の網元の家には伝わったもので、須屋と呼ばれる厨子に入れて祀られていた。ヨベッサンは阿波人形浄瑠璃の人形師天狗屋久吉(三代目)の作。



展示協力者 寺本清吾、三宅重久、香川県地域づくり推進室、香川県農業試験場小豆オリーブ研究所、香川県立文書館、極楽寺、史跡塩飽動物番所顕彰保存会、総本山 善通寺、(敬称略) 多度津町立資料館、豊島公民館、豊島小学校、丸亀市立資料館

■次回予告

守る・攻める 城と館
平成27年1月2日(金)～3月1日(日)

■ミュージアムトーク

当館学芸員が展示内容について解説します。
日時:平成26年11月16日(日)、12月13日(土)
午後1時30分より

常設展示解説シート vol.68
平成26年11月13日発行

香川県立ミュージアム
〒760-0030高松市玉藻町5番5号
電話 087(822)0002(代)
087(822)0247(学芸課)
担当 野村美紀



展示品一覧

No.	指定	名称	数量	時代	作成者	法量	所蔵等
1 島々のすがた							
1	□	衆鱗図 第一帖	1	江戸時代		33.5×48.5	高松平家歴史資料(当館保管)
2		讃岐国直嶋 女木嶋 男木嶋	1	天保9年(1838)	三宅又左衛門	64.0×140.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
3		日本橋より長崎迄道中記	1	江戸時代		54.8×1816.2	当館蔵
4		金毘羅参詣名所図会	2	弘化4年(1847)		25.6×18.0	当館蔵
5		瀬戸内海図絵	1	昭和5年(1930)	大阪商船	19.0×11.0(地図18.0×73.0)	当館蔵
2 島々に息づく歴史・文化							
① 小豆島							
6		歌舞伎の衣装	1	江戸時代末期～昭和時代		身丈185.0 桁68.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
7		敵討優曇華龜山	1	明治32年(1899)	嵐璃當	12.6×33.1	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
8		金毘羅御利生敵討雑物語	1	明治26年(1893)	2代目嵐璃當	12.1×33.1	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
9		金崎湊荒浪	1	明治27年(1894)	2代目嵐璃當	12.0×32.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
10		黄金千金有明の月 星ヶ城古跡石碑	3	明治34年(1901)	嵐璃當	24.6×16.8	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
11		ワリゴ	1	明治～昭和時代		26.3×26.5×50.2	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
12		小豆島通覧	1	明治31年(1898)	香川県高松中学校々友会	22.2×15.8	当館蔵
13		小豆島醤油醸造家一覧	1	明治～昭和時代	小豆島醤油製造同業組合	26.4×37.9	当館蔵
14		大日本繁昌懐中便覧 香川県	1	明治30年(1897)		10.2×22.7	当館蔵
15		瀬戸内海国立公園 小豆島	8	昭和時代		13.8×8.7	当館蔵
16		国立公園寒神懸山(寒霞溪)絵図	1	昭和時代		19.1×12.6	当館蔵
17		小豆島八十八箇所霊場案内絵図	1	昭和13年(1938)		39.2×53.4	当館蔵
② 豊島							
18		国立公園 豊島島瞰図	1	昭和24年(1949)	寺本郷史	36.0×115.0	豊島公民館蔵
19		豊島島瞰図	1	昭和49年(1974)	寺本郷史	56.2×155.3	豊島小学校蔵
20		日本山海名産図会 二	1	寛政10年(1798)		25.0×15.7	当館蔵
③ 大島							
21		英公実録 卷之六	1	江戸時代中期	後藤世鈎・青葉士弘他編	28.0×20.0	当館蔵
22		高松藩分限帳	1	江戸時代後期		16.0×26.0	当館蔵
23		大島療養所二十五年史	1	昭和10年(1935)	大島療養所	22.6×16.0	当館蔵
24		大島の冬	1	昭和25年(1950)	飛田俊雄 著 農村文化社 発行	18.4×13.3	当館蔵
25		ハンセン病を知っていますか?	1	平成16年(2004)	香川県	30.2×21.0	当館蔵
④ 直島							
26	○	サシコドンザ	1	大正～昭和40年代		身丈132.0 桁60.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
27	○	ザイ	1	昭和20～30年代		長64.5 径2.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
28		鯛網逆網船模型	1	平成時代	津田孝	148.0×34.0×11.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
29		毎歳鯛網順番取扣	1	嘉永3(1850)～明治18年(1885)		37.3×14.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
30		鯛網漁場割表	1	明治～大正時代		径18.5 厚2.7	個人蔵
31	○	海上安全の木札(蓮台寺)	1	明治～昭和時代		98.7×17.8×2.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
32	○	漁獺潤澤の木札(金刀比羅宮)	1	明治12年(1879)		98.5×18.8×2.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
33	○	魚漁守護の木札(八幡宮)	1	明治～昭和時代		64.0×13.8×1.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
34		船鑑札	1	天保13年(1842)	倉敷御役所	18.0×7.6×1.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
35		鯛網鑑札	2	天保14年(1843)	御役所	17.5×8.5×0.9	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
36		鑑札	2	明治4年(1871)	丸亀県	15.0×9.0×1.1	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
37		鑑札	2	明治4年(1871)		10.2×7.4×0.7	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
38		鑑札	2	明治7年(1874)	名東県	15.3×8.9×1.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
39		アワビの魔除ケ	1	明治～昭和時代		18.5×14.2×5.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
40		新院御旧跡図	1	江戸時代		122.3×132.3	個人蔵
⑤ 男木島・女木島							
41	○	ミトダル	1	昭和時代		径61.0 高26.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
42	○	優勝旗(鱈瀬引網)	1	昭和35年(1960)		139.0×220.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
43		ワ	1	明治～昭和時代		径24.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
44		葉書	3	明治時代		14.1×9.1	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
45		日本山海名産図会 三	1	寛政10年(1798)		25.0×15.7	当館蔵
46		童話の謎 鬼ヶ島	1	昭和時代	高松市観光課	17.7×38.0	当館蔵
47		国立公園 鬼ヶ島 讃岐新名所	10	昭和時代		8.9×14.0	当館蔵

展示品一覧

No.	指定	名称	数量	時代	作成者	法量	所蔵等
48		瀬戸内海国立公園巡遊船 塩飽本島 鬼ヶ島	1	昭和12年(1937)	大阪商船	22.8×38.1	当館蔵
49		鬼無伝説桃太郎さん鬼ヶ島征伐	1	昭和18年(第12刷発行)	橋本仙太郎	18.2×12.8	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
50		観光学術読本鬼が島	1	昭和32年(1957)	高松市商工観光課	21.2×15.1	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
⑥ 塩飽の島々							
51	◇	織田信長朱印状(複製)	1	天正5年(1577)	織田信長	15.3×41.0	原資料 塩飽勤番所蔵
52	◇	豊臣秀吉朱印状(複製)	1	天正14年(1586)	豊臣秀吉	32.4×50.3	原資料 塩飽勤番所蔵
53	◇	徳川家康朱印状(複製)	1	慶長5年(1600)	徳川家康	46.4×62.1	原資料 塩飽勤番所蔵
54		塩飽島諸色手鑑	1	宝暦年間(1751~64)	岡崎彦吉	14.3×22.8	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
55		浄厳書状	1	江戸時代	浄厳	13.9×52.5	極楽寺蔵 丸亀市立資料館保管
56		向井仁助像	1	万延元年(1860)		8.2×7.0	塩飽勤番所保管
57		航海日記(複製)	1	万延元年(1860)	石川政太郎	24.5×19.0	原資料 塩飽勤番所蔵
58		山下岩吉所用 羅針盤	1	江戸末期~明治時代		28.5×28.5×22.5	多度津町立資料館蔵
59		セルビア号砲弾	1	慶応2年(1866)		径 約20.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館)
60		英国軍艦セルビア艦長ジョン氏ヨリ廣島村民宛感謝状	1	1896年		23.4×36.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館)
61		善通寺五重塔野地板	1	明治34年(1901)		189.7×29.2×1.0	善通寺蔵
62		善通寺釈迦堂棟札	1	文政13年(1830)		102.7×101.2×20.4	善通寺蔵
63		塩飽工業補習学校二関スル書類綴	1	明治時代		27.5×20.0×4.0	香川県立文書館蔵
64	○	イイダコツボ	2	昭和時代		径7.1 高11.7、	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
65		ジャバラ	1	昭和時代		長94.0 幅21.7	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
66		カチカチ	1	昭和時代		長119.3(面)19.1×28.5×9.8	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
67		フリヨキ	1	昭和時代		柄/長61.5、刃/長12.0、幅4.0 厚3.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
68		モトヨキ	1	昭和時代		柄/長さ98、刃/長22.0 最大幅8.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
69		ノコ	1	昭和時代		柄/長61.0、刃/長57.0 最大幅10.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
70		ヒキヤ	1	昭和時代		11.0×6.5×4.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
71		トビグチ	1	昭和時代		柄/長102.6、金属部/最大長22.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
72		キマワシ	1	昭和時代		輪部分/外径11.0、引掛け部/最大長33.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
73		コビキノコ	1	昭和時代		柄/長20.5、刃/最大長59.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
74		ハナカン	1	昭和時代		輪部分/外径11.0、楔部分/長14.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
75		ズンドウ矢	2	平成10年(1998)		長98.0、99.5	当館蔵
76		デコ	1	昭和~平成時代		4.3×7.0×26.0	丸亀市立資料館蔵
⑦ 粟島・志々島							
77	■	粟島伊勢神宮奉納舟絵馬のうち末福丸	1	文化3年(1806)		47.5×62.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
78	■	粟島伊勢神宮奉納舟絵馬のうち住吉丸	1	天保12年(1841)		40.5×58.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
79		神棚	1	江戸時代末期		29.0×300.5×75.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
80		懸硯	1	江戸時代		49.5×40.0×47.3	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
81		讃岐写真帖	1	大正5年(1916)		26.5×35.9	当館蔵
82		錦絵 讃岐名所	1	明治34年(1901)		18.5×27.0	当館蔵
83		粟島の風光	5	昭和時代	粟島商工会	9.0×14.0	当館蔵
84		伊達額「順風」	1	昭和時代		21.5×39.3×4.2	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
85		西讃府誌	1	江戸時代後期	秋山巖山	26.0×18.1	琴平町教育委員会蔵(当館保管)
⑧ 伊吹島							
86		ヨベッサン	1	昭和時代		体長93.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
87		リョースケサン	1	昭和時代		体長99.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
88	○	ケンチ	1	昭和時代		口径35.2 高27.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
89	○	大漁旗	1	昭和時代		99.3×143.2	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
90		マイラセ	1	明治~昭和時代		52.0×54.0	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
91	○	フナダマサン	1	昭和時代		15.7×5.8×7.4	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
92		ダスツキ	1	昭和時代		251.8×23.5	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)
93		アバ	1	昭和時代		29.4×8.6×3.8	当館蔵(瀬戸内海歴史民俗資料館保管)

○は重要有形民俗文化財、□は県指定有形文化財、■は県指定有形民俗文化財、◇は市指定有形文化財